様式第１

**受付番号：**

平成　　年　　月　　日

大分県地域事務局

大分県中小企業団体中央会

会長　　髙山　泰四郎　殿

　　申請者　　申請者住所（〒　　　　　　　　）

　　　　　　　名　　　称

　　代表者氏名（代表者の役職及び氏名）　　　　　　　㊞

平成２５年度中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業に係る

補助金交付申請書

 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業に係る補助金交付規程第５条第１項の規定に基づき、上記補助金の交付について下記のとおり、補助金の交付を受けたく関係書類を添えて申請します。

記

１．補助事業の事業計画名　『　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　』

　（注）別紙「（２）事業内容「１．」の事業計画名を記載してください。

２．補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金交付申請額

（１）補助事業に要する経費 　　　　　　　　　　　　円（税込み）

　　　補助事業に要する経費 　　　　　　　　　　　　円（税抜き）

（２）補助対象経費 　　　　　　　　　　　　円（税抜き）

（３）補助金交付申請額 　　　　　　　　　　　　円（税抜き）

３．補助事業の内容及び補助事業に要する経費の配分

別紙　補助事業計画書のとおり

（添付書類）

①　中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業に係る補助事業計画書（別紙）

②　技術導入計画書（補助事業計画書の別紙１）

③　専門家指導計画書（補助事業計画書の別紙２）

④　委託に係る計画書（補助事業計画書の別紙３）

⑤　知的財産権等取得書（補助事業計画書の別紙４）

⑥　直接人件費対象者一覧表（補助事業計画書の別紙５）

⑦　その他大分県地域事務局が必要と認める書類

（注１）申請書の用紙サイズは原則としてＡ４版の片面印刷とし、添付書類とともに提出してください。

（注２）上記の提出に加えて、申請書の内容が全て入力された「ワード」のファイルを、電子媒体（ＣＤ－Ｒ）に保存のうえ、１部提出してください。

**別紙**

補助事業計画書

　**（１）申請者の概要等**

|  |
| --- |
| １．申請者の概要 |
|  | 企業名：　 |  |
| 代表者の役職名及び氏名：　 |
| 住　所：（〒　　　－　　　） |
| 補助事業の実施が本社の所在地と異なる場合の実施場所（開発機能があることが条件です。）住　所：（〒　　　－　　　） |
| 電話番号：　 | FAX番号：　 |
| 【今後の連絡先】担当者の役職名、氏名及び電話番号：　 |
| 担当者のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：　 |
| 資本金（出資金） | 　　　　　　千円　 | 従業員 | 　　人　 |
| 主たる業種（日本標準産業分類、中分類） |  |
|  |
|  |
| ２．株主等一覧表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（平成　　　年　　　月　　　日現在） |
|  | 主な株主又は出資者（注）出資比率の高いものから記載し、大企業は【　】に◎を記載してください。６番目以降は「ほか○人」と記載してください。 |  | 株主名又は出資者名 | 所在地 | 大企業 | 出資比率(％) |  |
| ① |  |  | 【　】 |  |
| ② |  |  | 【　】 |  |
| ③ |  |  | 【　】 |  |
| ④ |  |  | 【　】 |  |
| ⑤ |  |  | 【　】 |  |
| ⑥ | ほか　　　　　人 |  |
|  |
| ３．役員一覧（監査役を含む。別紙として添付することも可能。） |
|

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 役職名 | 氏名 | フリガナ | 生年月日 | 男女別 | 会社名注.他社と兼務の場合 |
| 昭和・平成 | 年 | 月 | 日 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 |
| ４．経営状況表　※直近２期分の実績を記載してください。　　　　　　　　　　　　　　（単位：百万円） |
|  |  | 平成　年　月～平成　年　月 | 平成　年　月～平成　年　月 |  |
| ①売上高 |  |  |
| ②経常利益 |  |  |
| ③当期利益 |  |  |
|  |

（２）事業内容

|  |
| --- |
| １．事業計画名（３０字程度） |
| ２．事業計画の概要（１００字程度で記載し、別紙を添付することも可能です。） |
| ３．対象類型（ものづくり技術か革新的サービスのいずれかに☑を付し、ものづくり技術は技術との関連性にも☑を付してください。） |
| **□**【ものづくり技術】下記技術との関連性（複数選択可）□情報処理　　□精密加工□製造環境　　□接合・実装□立体造形　　□表面処理□機械制御　　□複合・新機能材料□材料製造プロセス　　□バイオ□測定計測　 | **□**【革新的サービス】 |
|  |
| ４．事業類型以下から選択ください。□環境・エネルギー□健康・医療□航空・宇宙□成長分野型 □試作開発＋設備投資　□設備投資のみ □一般型□試作開発＋設備投資　□設備投資のみ□小規模事業者型（製造業２０人以下、商業・サービス業５人以下）□試作開発のみ |
| ５．事業の具体的な内容（別紙を添付することも可能です。） |
| その１：試作品・新サービスの開発や設備投資の具体的な取組内容その２：将来の展望（本事業の成果の事業化に向けて想定している内容及び期待される効果） |

（３）補助金又は委託費の交付を受けた実績説明（申請中、申請予定の案件も含む）

　※該当案件がある場合のみ記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体（関係省庁・独法等） |  |
| 実施期間 |  |
| 補助・委託額 | 万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |

（注１）本事業を含め、経済産業省その他の省庁等（各々に関連した特殊法人等の外郭機関を含む）による研究開発制度・事業（補助・委託額）において、申請時点から**「過去５年以内に実施済」又は「現在実施中」若しくは「現在申請中」及び「今後申請予定」**とされているもののうち、本事業計画と類似した事業内容（同一実施者の関与又は同一の技術シーズを用いるなど）と思われるもの又はその恐れがあるものについて記載してください。

（注２）複数案件がある場合は案件ごとに本表を複製して作成してください。

（４）経費明細表

**＜経費明細総括表＞**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 　 | A | B | B×2/3以内 |
| 申請者名 |  |  補助事業に要する経費 | 補助対象経費 | 補助金交付申請額 |
| （税込み） | （税抜き） | （税抜き） | （税抜き） |
| 補助事業者名 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 合　計 |   |   |  |   |

（注１）各補助事業者の経費明細表の合計と一致するように記載してください。

（注２）本事業全体の経費支出を記載してください。

**＜経費明細表＞**

**（事業者名：　　　　　　　　　　　　）**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | A | B | B×2/3以内 | 　 |
| 経費区分 | 補助事業に要する経費 | 補助対象経費 | 補助金交付申請額 | 積算基礎（A.税込み） |
| （税込み） | （税抜き） | （税抜き） | （税抜き） | 　 |
| 原材料費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 機械装置費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 直接人件費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 技術導入費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 外注加工費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 委託費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 知的財産権等関連経費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 運搬費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 専門家謝金 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 専門家旅費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 雑役務費 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 合　計 |   |   |   |   | 　 |

（注１）費目を使用する場合、補助事業に要する経費欄、補助対象経費欄及び補助金交付申請額欄に数字を必ず記入してください。また、未使用費目は削除して、行を詰めてください。

（注２）「成長分野型」「一般型」は、設備投資（機械装置等の取得のための経費のうち補助対象経費で単価５０万円（税抜き）以上を計上）が必要です。また、「機械装置費」以外の経費については、総額で５００万円（税抜き）までを補助上限額とします。「小規模事業者型」で「機械装置費」を計上する場合、補助対象経費で総額５０万円（税抜き）未満に限り対象とします。

（注３）応募申請段階で記載した内容及び金額が全て認められたということではありませんので、ご注意ください。本申請書において、内容及び金額を精査させていただきます。

（注４）「補助事業に要する経費」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を意味し、ここでは必要経費全額について消費税を加算した税込み金額（税込み欄）と消費税を抜いた税抜き金額（税抜き欄）を併記してください。

（注５）「補助対象経費（税抜き）」とは、「補助事業に要する経費（税込み）」のうちで補助対象となる経費について、消費税を差し引いた金額を記載してください。なお、本事業で使用する汎用性があり目的外使用になり得るもの（例えば、補助事業に関わる事務用のパソコン、プリンタなどの購入やインターネット回線使用料）については「補助事業に要する経費（税込み）」となりますが、補助対象外であるため、「補助対象経費（税抜き）」にはなりません。

（注６）「補助金交付申請額（税抜き）」は、「補助対象経費（税抜き）」のうちで補助金の交付を希望する額で、その限度は、「補助対象経費」に補助率（２／３）を乗じた額（１円未満は切り捨て）をいいます。

（注７）「積算基礎」は、「補助事業に要する経費（税込み）」について単価や旅行程など経費の内訳を明確に記載してください。

（注８）「経費区分」には上限が設定（外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費）されているものがありますのでご注意ください。

（５）　資金調達内訳

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| ＜事業全体に要する経費調達一覧＞ |
| 区　　　　　分 | 事業に要する経費(円) | 資金の調達先 |
| 自己資金（税込み） | 　 | 　 |
| 補助金（税抜き） | 　 | 　 |
| 借入金（税込み） | 　 | 　 |
| その他（税込み） | 　 | 　 |
| 合計額（税込み） | 　 | 　 |

 | ＜補助金相当額の手当方法＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　　　　分 | 事業に要する経費(円) | 資金の　　　調達先 |
| 自　己　資　金 | 　 | 　 |
| 借　　入　　金 | 　 | 　 |
| そ　　の　　他 | 　 | 　 |
| 合　　計　　額 | 　 | 　 |

 |

本事業の経理担当者の役職名・氏名

（注）補助金の支払は、原則として事業終了後の精算払となりますので、事業実施期間中、補助金相当分の資金を確保する必要があります。